



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHI-KU,
 OSAKA, JAPAN

April 2003 No.10
 Chartered July 20, 1982

標語 YS SLOGANS (2002~2003)

クラブ会長 : 『心と思いを合わせ、共に生きる』
 国際会長 : " Growth through service " 『奉仕による成長』
 アジア会長 : " Into the bright light of selflessness "
 『無私の奉仕で輝く未来へ』
 西日本区理事 : 『ベクトルを合わせ、地域と共に活動を』
 中西部長 : 『心(こころ)豊かに! ワイズ・スピリッツを燃やそう!』

クラブ役員 Officers

会長 : 松浦 孝次
 副会長 : 中村 茂高
 // : 谷川 俊一
 書記 : 山田 孝彦
 // : 畠中 彬
 会計 : 三浦 直之
 外会長 : 松浦 和子
 Y連絡職員 : 浜野 昌保

月間強調テーマ : 『YMCAサービス・ASF』

㊦㊦㊦ 4月の聖句 ㊦㊦㊦
 [Biblical Message of April]

㊦㊦㊦ 4月の例会 ㊦㊦㊦
 [April Club Meeting]

一行は目指す村に近づいたが、イエスはなおも先へ行こうとされる様子だった。二人が、「一緒にお泊りください。そろそろ夕方になりますし、もう日も傾いていますから」と言っていて、無理に引き止めたので、イエスは共に泊まるため家に入られた。一緒に食事の席に着いたとき、イエスはパンを取り、賛美の祈りを唱え、パンを裂いてお渡しになった。すると、二人の目が開き、イエスだと分かったが、その姿は見えなくなった。二人は「道で話しておられるとき、また聖書を説明してくださったとき、わたしたちの心は燃えていたではないか」と語り合った。そして、時を移さず出発して、エルサレムに戻ってみると、十一人とその仲間が集まって、本当に主は復活して、シモンに現れたと言っていた。二人も、道で起こったことや、パンを裂いてくださったときにイエスだと分かった次第を話した。

(ルカによる福音書 24章28~35節)

㊦㊦㊦ Attention Please ㊦㊦㊦

- YMCAサービスは、YMCAとのパートナーシップの向上、協働プログラムの開発、学生YMCA・YMCAメンバーとの交流を図るものです。ASFとは、"Alexsander Scholarship Fund"。ワイズの創始者 アレキサンダーを記念して設置された奨学基金のことで、将来YMCAに奉職しようとする青年に経済的支援をするものです。
- センテニアルクラブのホームページが開設されました。アドレスは<http://www.age.ne.jp/x/kyoto/index.html>

○ 4月 第1例会

日時: 2003年4月16日(水) 18:30~20:30
 場所: 東洋ホテル3階

司会 新保 正秋君

- 開会点鐘 松浦 孝次会長
- ワイズソング 一同
- ゲスト紹介 松浦 孝次会長
- 聖句朗読 浜野 昌保君
- 今月のテーマ「YMCAサービス/ASF」
福永 嘉彦君
- 日々の糧・晚餐 一同
- スピーチ
「いつまでも健康でいるために——前立腺がん」
中村 隆幸君 (大阪港員病院福院長)
- お誕生日祝い・ニコニコ献金 一同
- その他連絡・報告 各担当
- 閉会点鐘 松浦 孝次会長

○ 4月 第2例会

日時: 2003年4月23日(水) 18:30~20:30
 場所: 大阪YMCA土佐堀館9階

*4月例会当番 第5班 (三浦、浜野、湯浅、新保)

*4月お誕生日 Happy Birthday!
 浜野君26日、隅田メネット13日

【クラブ統計 Statistics】 下欄()は、うち広義会員を表わす

2003年3月	種別	第1例会	第2例会	BFポイント	ニコニコ献金
在籍会員 22(1)名	メン	13名	9名	3月:切手 525 gr.	3月: 18,500円
例会出席 14名	メネット	5名	名	現金 2,000円	
うちメークアップ 1名	ビジター	1名	名	(02年7月~03年3月の)	累計: 178,500円
	ゲスト	2名	名	累計:切手 5,800 gr.	(除く、クリスマス献金、
出席率 66.7%	合計	21名	9名	現金 25,500円	オークション、記念献金)

来る4月20日は今年のイースター（復活節）です。イースターはご承知の通り、クリスマスと並ぶキリスト教の二大祝日のひとつですが、クリスマスがキリストの誕生を祝うものに対して、イースターはキリストの復活を祝うものであるだけに、復活なんてあり得ないことであると考え人々にとっては理解し難いことでしょう。

しかし、信仰的事実と科学的事実を混同してはならないと私は思います。「科学的に考えて、人間の復活などは信じられない」と主張する人は、その考え自体が宗教的事実を科学的に究明しようとするもので、科学的ではありません。

今月の聖句で取り上げた言葉のなかに、「わたしたちの心は燃えていたではないか」と書かれています。生前からのキリストの教えや行動の数々が、弟子たちの心の中に、「キリストは確かに復活されたのだ」という強い確信を生み出し、それが信仰的事実となって人から人へと伝えられてきた、と考えることは間違っているでしょうか。またそれでこそキリストの教えが今日もなお、人々にその生き方を変えさせるほどに強い影響力を持っているのです。

（聖句選、コメント：黒田巖之）

3月 第1例会

【 Report of the March Club Meeting】

(3月19日(水) 18:30~20:30 東洋ホテル)
 プリテン：松浦 孝次

○ ゲストスピーカーに、大阪YMCAの田尻忠邦スタッフ、ミャンマー・マンダレーYMCAのSWE・SWE・MARさんを迎えて、ミャンマーの教育事情などを勉強するよい機会となった。MARさんがホームステイしている、大阪セントラルクラブの吉田晴津子さん(中西部Yサ事業主査)も来訪され、総勢21名が出席した。

○ 隅田恵子メネットの司会のもとに、福永嘉彦メンが聖句を朗読、栗山佳三メンが「EF/JWF」の意味について解説を行った。

○ 私たちがミャンマーをどれだけ知っているかー田尻さんとスエ・スエ・マーさんから、ミャンマーの面積、人口、隣接する国々、宗教、物価水準などクイズを出されて、知らないことが多いことに気づかされた。

経済的には発展途上国だが、自然が美しく、人情も豊かで、数10年前の日本の農村を彷彿とさせるという。

ミャンマーのマンダレーYMCA が取り組んでいるプロジェクトについて解説があり、YMCA が地域の教育・文化・衛生・食生活について指導的役割を果たしていることを知った。教科書・文房具や設備・備品も足りないなかで、マンダレーYMCA ががんばっている実情に胸をうたれる。

The March 19th meeting was held at Toyo Hotel in Osaka, with a total 21 Y's men, Y's menettes and guests in attendance.

The Endowment Fund and the Japan West Fund were emphasized for this month, so Y's Man KEIZO KURIYAMA, chairperson of the programs outlined the purpose and objective of the two funds.

Mr. TADAKUNI TAJIRI of the Osaka YMCA and Ms. SWE SWE MAR of the Mandalay YMCA in Myanmar, alternately spoke about the state affairs of Myanmar and the activities of both YMCAs in Mandalay, Myanmar.

As our club has just started support to the activity of the Osaka YMCA's Myanmar Childcare Project, it was a good occasion for all members to know the country and the real situation of the Project as well. We were strongly impressed the various efforts being made by the two YMCAs under the circumstance of the shortage of the text books, stationery and other school equipment.

At the same time, we were encouraged knowing that our support to the Project is significant and useful for improving these situations.

We happily celebrated birthdays of our members who were born in March, including Y's Man KENSUKE SUZUKI who will celebrate his 91st birthday on March 26th.



(田尻忠邦、SWE・SWE・MAR 両氏からミャンマーの話しを聞く)

♫ そして大阪YMCAの支援は大変感謝されている。その大阪YMCA「ミャンマー・チャイルドケア・プロジェクト」に、わがクラブは昨年より支援を始めた。支援の規模はささやかだが、意義のあることだと、改めて思った。

マンダレーYMCAの役員の人たちは「ぜひ一度現地に来て、実情を見てほしい」とのことである。

なお、スエさんは、昨年10月から来日し、今年4月中旬まで大阪YMCAで研修を続ける予定。

○ 会員一同、鈴木謙介メンの91歳のお誕生日を心からお祝いした。

中西部合同メネット会に参加して

坂本 千春 メネット

3月8日太閤国で、中西部合同メネット会が開かれ、わがクラブからは、松浦メネット会長をはじめとして、隅田メネット、谷川メネット、そして山田メンが参加しました。

太閤国という会場のせいかな、または、「女性が輝いて生きるために」という講演題目に魅力を感じてか？（私は、どちらかという也太閤国に魅かれて）、たくさんのメネットの参加がありました。

講演内容もすばらしく、次期メネット主査を仰せつかって少々重荷だなあ、と感じていた私でしたが、講演を聴き終えて、「ポジティブにできることをやっぴいこう」と考えられるようになりました。

また、同席した他のクラブのメネットさんたちとも交流をはかれ、3月21日・22日の六甲での研修(西日本区次期会長・主査研修会)も魚きょ参加することになりました。

いままで、私がクラブに入れていただいて、常に隅田メネットをはじめとして、他のメネットに頼りっぱなしでしたが、これからの1年は、少しは皆様のお役にたてるようにしなくっちゃ！と反省することが出来たメネット会でした。



(太閤国会場での、わがクラブのメネットさんたちと黒一点の山田さん)

3月第2例会

【 Report of the March Club Meeting 】
(3月28日(水) 18:30~20:30 大阪YMCA)
書記：山田 孝彦

1. ワイズの諸集会を振りかえる

3月に、中西部EMC/広報合同シンポ、中西部合同メネット会、西日本区YYフォーラムが相次いで開催された(それぞれ別稿)。3/21~22には中西部・次期会長・主査研修会があり、谷川俊メン、坂本メネットが出席し、来年度に備えた。

2. 土佐堀YMCA 関連(第10回運営委員会)

松浦運営委員から、運営委員会発足後2年を経過して、会員・地域・Y学校生徒との関り、各種委員会の運営、また会館利用の促進についての方向がみえてきた。さらに、協力会員(土佐堀

約350人)を増やすことが課題。3/21には、土佐堀Yのリーダーの「卒業式」である指導者感謝会がおこなわれた——との報告があった。

3. 4月例会プログラム

プリテン当月号P.1 記載のとおり決定。久々に中村隆幸メンから健康・医療についての話を聴く。

4. 5月例会プログラム

いくつかの案をもって、ゲストに依頼する。

5. 各事業の成果チェック

各事業の成果表彰基準に照らして、わがクラブの各事業の成果を自己評価した。主査を通じて、西日本区に報告する。

6. デファレンスディの検討

「6/7(土) 14:00~17:00 YMCA 会館で開催」(一般の人に集ってもらいやすい曜日)を目標に、今後検討していく。なお、当会合をもって6月第1例会に代える。

7. ヒラナカ氏(ハワイのNuanuu Club) 歓迎会

藤原正日メンを実行委員長として、7月下旬の歓迎プログラムを検討、準備を進めていく。

◆♡◆ ◆♡◆ ◆♡◆ ◆♡◆ ◆♡◆ ◆♡◆

3月例会に出席されたミャンマー・マンダレーYMCAスタッフの Swe・Swe・Mar さんから、ご挨拶状(メッセージカード)が、当クラブあて送られてきました。



(Swe さんからのメッセージカードの表
— カラーでお見せできないのが残念)

センチニアル ワイズメンズクラブの皆様へ

こんにちは！ 私はスエ スエ マーです。この間は、私の国やマンダレーYMCAのことをお聞きくださってありがとうございました。ミャンマーのチャイルドケアのために寄付していただいて本当に感謝しています。これからもよろしくお祈りします。皆様も是非ミャンマーへ来てください。

スエ スエ マー
マンダレーYMCA、ミャンマー

イラク戦争の勃発は、ワイズダムにとって大きな関心事となってきた。世界の現状は、中近東のみならず東アジアにおいても、近い将来戦争の勃発の不安なしとしない。

この世界の危機に際して、I. P. (国際会長) William Ward 君が最近 "The Position of Y's Men International Regarding the Crisis in the Middle East" という題の声明文を広く内外に向かって訴えた。時宜に適したよいことと思う。

これによって想起することがあります。むかし北京YMCAでワイズメンだった時、第2次太平洋戦争勃発に際し、ときのI. P. やI. S.G (国際書記長)から似たような声明文が送られた覚えがあります。

いずれにしても、ワイズメンは誰よりも一番 "NO WAR" を叫び、具体的に働かねばならないことを、われわれ覚悟せねばならぬと思います。

[注] William Ward 氏の声明文の要旨

ワイズメン国際協会の目的に照らすと、国家間のあらゆる意見の相違・紛争は、平和的に解決されるべきである。これは、全ての人々の平和と平等を実現するイエス・キリストの教えにもとづいている。

われわれは、紛争が平和的に解決され、防止され、すべての大量破壊兵器が破棄されることを祈る。われわれは、これらのことが国連のフレームワークのなかで処理されることを主張する。すべてのワイズメン、ワイズワイズメンはともに折りに加わろう。

お知らせ

1. 一人一便りハガキ運動2回目

西日本区が昨年秋(ワイスデイ)に行った運動の第2弾です。一般の市民、とくに友人・知人にワイズを知ってもらうために有効ではないか、全員が積み重ねをしていくことは無駄ではないと、もう一度3~4月に実施することになりました。

各人一枚のハガキを、これと思う人にお出しください(3月例会で配布済み)

2. ワイズメンズクラブ第6回西日本区大会

6月14日(土)~15日(日) 彦根市

[6月14日]

- ・西日本区役員会 9:30~10:30
・西日本区代議員会 10:45~12:00
・メネットアワー 10:45~12:30
・大会登録 11:00~13:00
・西日本区大会 13:00~17:15

——以上は、ひこね市文化プラザで

- ・パーティ 18:30~20:30 彦根プリンスホテル

[6月15日]

- ・聖日礼拝 7:45~8:30 ピッコロボスコ
・表彰~閉会式 9:00~11:30 ひこね市文化プラザ ♂

次期中西部役員(03~04年度)

わがクラブからは、坂本千春メネットがメネット事業主査に就任します。みんなでバックアップしましょう!

- 部長 杉浦真喜子 大阪なかのしまクラブ
次期部長 松本武彦 大阪ヴェクセルクラブ
直前部長 山本 豊 大阪西クラブ
書記 吉岡香代子 大阪なかのしまクラブ
会計 保田圭子 大阪なかのしまクラブ
監事 尾崎琢磨 大阪セントラルクラブ
連絡主事 向谷 章 大阪YMCA
Yサ・ユース事業主査 工藤義正 大阪土佐堀クラブ
地蔵奉仕事業主査 藤井英世 大阪茨木クラブ
EMC事業主査 成瀬康夫 大阪西クラブ
ファンド事業主査 清水 汎 大阪クラブ
交流事業主査 松田義彌 大阪豊中クラブ
広報事業主査 高橋 敏 大阪千里クラブ
メネット事業主査 坂本千春 大阪センテニアルクラブ

~.~.~.~.~.~.~.~.~.~.~

♂ なお、6月13日夕に、「前夜祭」が北ビワコホテル・グーツィエ(長浜市)で開催されます。

・西日本区大会の参加は、クラブでまとめて登録受付中。ふるってご参加を... 申込は山田書記まで。

3. ワイズメンズクラブ国際協会・第20回アジア大会
7月24日(木)~27日(日) フィリピンで開催。

4. 役に立つアウトドアの救急法セミナー

5月18日(日) 大阪YMCA会館

主催・主管: 土佐堀YMCA/大阪YMCA 山岳会

9:30~12:00 普通救命講習(心肺蘇生法、応急措置など)

13:00~16:00 アウトドアの救急法 — 西消防署ほか

動きやすい服装で参加 参加費300円 先着40名

申込は 土佐堀YMCA 06-6445-0297

4. 「宮崎ワイズメンズクラブ」の国際協会加盟認証の記念式典

4月27日(日) 14:00~ ワールドコンベンションセンター・サミット(宮崎市山崎町浜山)

宮崎クラブはさる1/19に設立。九州部会で、宮崎県のクラブとして初めての設立です。

5. 故 三井海寿雄氏(享年102歳・大阪ワイズメンズクラブ)を偲ぶ会

4月29日(火・祝) 14:00~15:30

大阪YMCA会館903号室

70余年にわたってワイズ活動、YMCAに貢献された三井さんがさる1月11日に逝去され、氏を偲ぶ「追悼とお茶の会」が下記のとおりもたれます。参加は平服です。

参加者は4月21日までに、大阪YMCA 統括本部(山辺・四方さん Fax:06-6445-0297)までご連絡ください。

YMCA ニュース

連絡職員：浜野 昌保

○先月の早天祈祷会の証しはわれらが松浦会長でした。若い頃YMCAのディスクラブに入られて、人形劇などで奉仕活動をされたこと、そして人との交わりを通じて造り主と出会ったことなどを語られました。また「人はいかに生きるか」を、中野孝次著「清貧の思想」を引用して熱く説かれ、「明日のことまで思い悩むな」という聖句で締めくくられました。

皆様も、早天祈祷会で、共に祈る時、人生の歩みを分かちあう恵みの時を持ちませんか。ぜひ一度ご参加ください。

★第120回大阪YMCA早天祈祷会

日時：4月18日（金）午前7時30分～8時30分

場所：大阪YMCA会館 10階チャペル

証し：矢崎邦彦氏（日本基督教会交野教会牧師
枚方YMCA運営委員）

問合せ：大阪YMCA Tel.06 (6441) 0894

★六甲自然観察会

日時：4月13日（日）午前9時30分

六甲ケーブル下集合

問合せ：土佐堀YMCA Tel.06 (6441) 0895

★YMCAチャリティーゴルフコンペ

日時：5月22日（木）

場所：飛鳥カントリー倶楽部（奈良市）

問合せ：チャリティーゴルフコンペ係 Tel.06 (6441) 0894

☆ 第5回西日本区Y・Yフォーラム ☆

会長 松浦 孝次

3/9(日)小雪がちらつく生駒山麓公園ふれあいセンターで開催され、私がクラブから1人参加した。

「力を合わせてY・Y前進—Do you know YMCA & Ys ?」をテーマに、140人が西日本各地から集まった。

奈良ワイズと奈良YMCAが主管。近鉄生駒駅や、会場受付などで、奈良YMCAの若いリーダーたちが迎えてくれた。今回のフォーラムは、とくに若い世代（リーダー、ボランティア）に参加を呼びかけたが、名古屋YMCAの高校生リーダー3人が参加、みんなの注目を浴びていた。

本行輝雄氏（前・日本YMCA同盟のワイズメンズクラブ連絡主事）から発題があった。「YMCAとワイズは車の両輪」といえるが、「みんなYMCAである」というべきではないかと。

そのあと、11の分団にわかれての討議を行った。YMCAとワイズの関係、ユースの育成、ワイズとユースの交流などをテーマに。

土佐堀YMCAおよびワイズとして、若いリーダーたちとの交流をもっと促進せねば。また、いまの社会にあって「YMCAでしか出来ないもの」はなんだろう？

♫ いわば「YMCAの売り物」はなに？ という問いに、自分なりの答えを出さねばという思いをつよくもった。

中西部EMC・広報合同シンポジウムに参加して

EMC委員長：畠中 彬

3月15日(土) 14時から「中西部EMC・広報合同シンポジウム」がYMCA会館で実施され、わがクラブからは、栗山、中村茂、畠中、松浦、山田の5人が参加しました。

全体で、西日本区の会員数の減少傾向や、会員増強のための広報活動の進め方の話を聞いたあと、ワイズの仲間を増やすためのグループ討議に入りました。

今一度私たちが入会したときの動機や期待を思いだし、クラブの現状を再チェックし、情性に流されないで、新しい魅力的な活動内容や事業内容を考え出すことが、新入会員の増加につながる。また活発な活動で会員数を増やしている京都部や九州部の手法に学ぶところがあること—等をお互いに確認し、今後の各クラブのEMC活動に生かしていくことにしました。

センテニアルクラブも近年会員数が減少傾向にあり、この問題には危機感をもって取り組んでいく必要があるのではないだろうか。



(どうやって仲間を増やすか—熱心に分団討議するメンバー)

3月BF ニュース

【 Report of the Brotherhood Fund in March 】

BF委員長：栗山 佳三

◇現金提供者：栗山、山田君

◇切手提供者：山田、中村隆、栗山、鈴木、福永君

*今月の殊勲賞 山田君 370g

Yサ・ユース事業資金（報告）

Yサ・ユース委員長：福永 嘉彦

Yサ・ユース事業資金づくりにご協力いただいた結果、書き損じハガキ27枚と自由献金2,000円を、西日本区Yサ・ユース事業主任あて提出しました。

ご協力を感謝申し上げます。



ニコニコ・メッセージ



【 Messages from the Club Members 】

ゲストからのメッセージ

- 限られた知識と経験ですが、ミャンマーのことをセンテニアルクラブの皆様と共有する機会を与えていただきましたことを感謝致します。
(大阪YMCA・田尻 忠邦)
- マンダレーYMCAのスタッフ、スエスエマーさんが日本で研修を受けたいろいろなことを参考にして、帰国後の活躍を願っています。
(大阪セントラルクラブ・吉田晴津子)

会員からのメッセージ

- ミャンマーの現状を知ることができました。日本では信じられないような状況もあり、少しでも助けができればと思いました。機会があれば現地に行ってみたいと思っています。
(石津 雅人)
- 日本の現状からみると劣悪とも思われる環境の中で、明るく学んでいる子供たちの豊かな表情に感激しました。現地でワークキャンプの話もあるようですが、ぜひ参加したいと思っています。
(栗山 佳三)
- ミャンマーのお話を聞いて大変勉強になりました。また、個人的には英語の恩師であります田尻先生に久々にお会いできてうれしかったです。
(坂本 千春)
- ミャンマー・マンダレーYMCAスタッフのSwe Swe Maさんの話にはびっくりするやら感心するやらでした。「花には太陽を子供には幸せを」と言う言葉を思い出しました。イラクのことも同じで、平和のことを考えさせられました。大阪YMCAの援助がもっと増えたらよいと思いました。
(新保 正秋)
- ミャンマーについて大阪YMCA田尻氏の解説は目を開かせるものがあった。Swe Swe Maさんの話もよかった。
(鈴木 謙介)
- 今月の例会で司会をおおせつかりました。緊張のあまりしっかり声が出ませんでした。井戸端会議ではやかましいといわれるのにどうしてでしょうか。松浦会長にしっかりフォローしていただいて、無事終えることができました。ありがとうございました。
(隅田 恵子)
- 最近のミャンマーのマンダレーYMCAの活動を知ることができ感謝です。
(田中 穰二)
- 寒い日が続いていますが大変の便りも聞けます。春が隣に来ているようです。暖かい日を待ちわびながら。
(谷川 俊一)
- 私たちが支援するミャンマーチャイルドケアのことを、スエスエマーさんや田尻さんから聞くことができました。ミャンマーの国のことを少し理解できました。
(中村 茂高)
- Swe Swe Maさんの日本語はとてもお上手でしたよ。ミャンマーの子供たちも幸せになって欲しいです。いつか行けたら・・・と願います。
(中村 幸枝)
- 年度末で人事異動に関する作業や内示などで落ち着かない毎日です。私も4月から新しい職場で新しい仕事に挑戦する予定です。
(富中 彬)
- センテニアルワイズからのミャンマーチャイルドケアプロジェクトへの支援金は、大阪YMCAが責任を

- 持って有意義に使わせていただきます。これからもご支援よろしく願いたします。
(浜野 昌保)
- 昨年11月から3カ月の間に、2回別々の手術で入院して失礼しました。目下リハビリに励んでいます。ご配慮感謝致します。
(福永 嘉彦)
- 久しぶりの例会に出席でき、皆さんの お元気なお顔を拝見し感謝でした。ミャンマーの自然豊かな様子や幼児教育のこと等、楽しく聞かせていただきました。貧しくともたくましく心を豊かに祈ります。YMC A国際奉仕の良き働き的一端を知ることができました。
(福永 滋子)
- ミャンマーは、タイの隣の国だという位しか知りませんでした。マンダレーのYMCAや子供たちの教育の様子がよくわかりました。小さな子供が生活のために働いていて大変だなと思いました。
(松浦 和子)
- ミャンマーの話聞くのは初めての事です。いろいろと困難はあるのですが、「子供たちの眼がキラキラしていた」との田尻さんの話しは希望があります。スエさん、大変ありがとう。
(松浦 孝次)
- 中西部メネット会(8日)、広報・EMCシンポジウム(15日)、いのちの電話発送の奉仕(3日)と、今月はYsのプログラムが多くありました。今夜の例会の後、4月に入ると沖縄アメラジアンスクール訪問、西日本区大会とスケジュールが続きます。ますます充実のYsライフを楽しみたいと期待しています。
(山田 孝彦)
- ミャンマーの話は興味深かったです。私たちの出した資金が有効に使われているとのことであれしい思いです。
(三浦 直之)

短 信

- 貴多野乃武次メンは、3月12日シンポジウム「文化を活かした国際交流・集客」のコーディネーターをされました(国土交通省、関西広域連携協議会、日経主催)。関西が守り育てた日本文化を、世界とくに東アジアにむけていかに発信し、集客に結びつけるかをテーマとするシンポでしたが、約300人の聴衆を前に、立派なコーディネーターぶりでした。
- 谷川寛メンは、「イラク戦争」が激化しているさなか、ベトナムYMCA訪問のあと、3月24日から世界YMCA同盟常務委員会(スイス)に出席するため、大阪から出発されました。旅の平安を祈ります。
- 福永嘉彦メンは、治療をおえられ、滋子メネットともども、久々に3月例会に元気で出席されました。
- 藤原正巳メンは、1月の大手術のあと2月中旬に退院し、今自宅でリハビリに専念されています。近く例会に顔を出されることでしょう。

《 編集後記 》

- 情報をお伝えするためにはどうしても6面だてになります。今月の英文(第2面)は、藤原メンが再び別冊、作成をお願いしました。またニコニコ・メッセージは、今月も石津さんに入力してもらいました。
- 3月例会に出席したSweさんから、メッセージカードが送られてきましたが、大変美しいカードです。モノクロでしか載せられないのが残念です。
(松浦 孝次)